

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 28年 1月 20日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3470103940		
法人名	株式会社 ひょうま		
事業所名	グループホーム ひなたぼっこ・亀山		
所在地	〒731-0231 広島県広島市安佐北区亀山五丁目9番13号 (電話) ① (082) 819-3255 ② (082) 814-3777		
自己評価作成日	平成27年12月16日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokensaku.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_2015_022_kani=true&JigyosyoCd=3470103940-00&PrefCd=34&VersionCd=022
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	平成28年1月18日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

家庭的な雰囲気の中で、入居者が本人らしい生活が送れるように「ドライブに出掛けたい」「仕事がしたい」「〇〇が食べたい」などの希望にも柔軟に対応している。日々の生活の中から役割を持つ事、活躍できる場面、自己決定できる場面をできるだけ多く持つようにしている。入居者の声に耳を傾ける等、能力や状態に応じた自立支援に柔軟に対応できる体制を整える事ができるよう取り組んでいる。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

「このホームは、利用者が今まで生活していた家庭の延長である」との考えから、日々の掃除、洗濯、調理を利用者と一緒に行い、利用者の得意な仕事に力を発揮してもらっている。利用者の声に耳を傾け、利用者の思いを把握するように努め、編み物、裁縫や将棋など利用者の趣味を継続できるよう支援している。日常的に買い物や散歩、ドライブに出かけている。また、季節の行事も充実させており、花見や紅葉狩りなどの遠出、同一法人のホームと合同で行うクリスマス会や夏祭りは、利用者同士が交流し楽しんでいる。利用者のペースで過ごせるように職員は見守り、「ここが『我が家』だと思えるよう」職員は取り組んでいる。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	事業所の理念・ホーム内の目標を決め実践できるよう掲示し取り組んでいる。又、職員個々においても年間目標を定め、確認し取り組んでいる。	法人の理念の下に、各ユニットで職員と話し合い、理念を作成し取り組んでいる。1つのユニットでは、理念を基に年間目標を立て実践し、達成度を評価している。別ユニットでは、利用者に対するケアが理念に沿っているか職員会議で確認している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	馴染みの地域・近隣の小学校の諸行事などとの交流を図っている。公民館活動を通じてのボランティア訪問もあり、お祭り・清掃活動に参加している。	町内会に加入し、清掃活動に協力している。地域の中学校からの職場体験を受け入れ、小学校行事に利用者と参加している。また、地域ボランティアが週2回訪問し、歌会を開催したり、また、中学生によるグループの訪問があり交流している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	地域の方の訪問、いきいきサロン参加など、ホーム内での対応や方法など理解し協力いただいている。又、中学校の職場体験受け入れを行うことにより、その場限りではない交流の輪が広がった。	/	/
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	2ヶ月に一度、ホーム内で実施した行事・今後の行事予定・取り組みなどの報告を行い、出席者から出された意見を反映させ、サービスの向上・実践に繋がるよう努めている。	運営推進会議は定期的開催され、利用者の参加は毎回あるが、家族の出席が少ないので、毎月の便りで開催日を知らせている。出席者から地域行事について教えてもらい、それを活用している。出席者から、ホームで発生した事故のリスク管理について質問があり、状況説明とホームとしての対策を説明した。	
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	市町の担当者に対し、ホーム内での事故・感染などが発生した場合の報告及び運営推進会議の案内と議事録の送付を行っている。地域包括支援センターとの連絡も密に取り、協力関係が築けるよう努めている。	区介護保険課に、運営推進会議の案内を毎回、通知しているが、担当職員の出席は少ない。市生活課の職員が定期的に訪問し、利用者に関して意見交換を行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>職員会議や外部研修の都度、身体拘束防止の勉強会の場を設け、職員間でも共通の意識を持ち取り組んでいる。安全の為、玄関の施錠をしているものの、必要最低限にするよう努めている。</p>	<p>身体拘束に関する法人研修が、年に1回ある。職員は、「虐待防止チェック表」（利用者に対する心理的・身体的な虐待に関する調査）の項目を自己評価し、管理者に提出している。それを基に管理者は、職員が心理的に安静を保つよう指導し、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見 overs されることのないよう注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>チェック表に基づき、定期的に改める機会を設け、細心の注意を払い、時間と距離を置き職員交代などをして防止に努めている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>職員会議・外部研修にて勉強会を行い学んでいる。必要に応じて関係者との話し合いを行い、支援に努めている。場合によっては、社会福祉協議会の「かけはし」の利用も紹介している</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>家族・本人との話し合いを持ち、不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い、理解・納得していただけるよう努めている。契約時には書面に書かれていない例えで、解りやすく説明している。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>運営推進会議への参加を募ったり、来所時や電話にて意見等聞けるよう努め、意向を運営に反映させている。また、本人の意見等を話せる機会も設けている。年に一度のご家族アンケート（無記名）に意見できるスペースを設けている。</p>	<p>家族の来訪時に家族の意見・要望を聞いている。家族会を年1回開催している。また、法人が年に1回、家族アンケートを実施し、アンケートの結果は家族に報告している。また、アンケートの結果に関して職員会議で話し合いを行っている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	連絡ノートや職員会議、また時間のあ る時に個人的に話を聞く機会を持ち、 反映させている。	職員の意見は、職員会議や連絡ノート で把握している。職員の意見により、 業務内容について話し合い、改善に取 り組んでいる。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力 や実績、勤務状況を把握し、給与水 準、労働時間、やりがいなど、各自 が向上心を持って働けるよう職場環 境・条件の整備に努めている。	面談にて職員個々の意見を聞く機会を 設け、シフトの偏りや業務マニュアル の変更を行い、協力を得ながら働きや すい職場環境を目指している。また、 職員の資格取得に向けた支援や、目的 意識を持つよう努めている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとり のケアの実際と力量を把握し、法人 内外の研修を受ける機会の確保や、 働きながらトレーニングしていくこ とを進めている。	なるべく誰もが外部研修に参加できる よう情報提供し、勤務体制を整えるよ う考慮している。また、毎月の職員会 議において内部研修を行うようにして いる。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と 交流する機会をつくり、ネットワー クづくりや勉強会、相互訪問等の活 動を通じて、サービスの質を向上さ せていく取組みをしている。	地域の年二回の交流会や意見交換、グ ループホーム交流会等の勉強会へ参加 できるよう、勤務体制のうえで配慮 し、サービスの見直しの機会を得るよ うにしている。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、 本人が困っていること、不安なこ と、要望等に耳を傾けながら、本人 の安心を確保するための関係づくりに 努めている。	面談や事前の体験入居を行うことによ り、本人の希望や心配ごとなど考慮し ながら、信頼関係を築くようにしてい る。また、家族の思いについても考慮 している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>家族の希望や不安などに沿えるよう十分な時間を取り、いつでも話せる機会を設け、信頼関係を築けるように努めている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>本人と家族の必要としている部分を考慮し、必要時には地域サービス等の利用もしている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>普段の生活の中で、入居者に教えてもらうことも多く、本人の出来ることを活かしながら、自立を尊重し、共に支え合う関係を築いている。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>家族との情報交換、また相談等を密にし、職員に出来ること、家族にしか出来ないことを話し合いながら支援している。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>定期的な墓参りや、昔からの友人、近所との交流、買い物へ外出するなど、馴染みの場所への外出、趣味を活かした地域交流、自宅などにドライブで出掛け、家の様子などを見に行くなどの支援をしている。又、家族と一緒に外出されることもある</p>	<p>彼岸やお盆など、定期的な墓参りに職員が同行したり、買い物の際に馴染みの店に立ち寄ったり、自宅の様子を見に行ったりと、馴染みの関係が継続するように支援している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	入居者同士の人間関係に配慮し、職員が話し相手となり、孤立しないよう、席の配置、食事作りや作品作り、外出などを通じて支援に努めている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	長期的には少ないが、定期的なお見舞いや、家族が来所されるなど、一定期間の継続的な関わりを行っており、暖かいお言葉や手紙を頂ける事もある。		

Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	本人とのコミュニケーションを通して、希望や意見にできるだけ沿えるように努めている。困難な方は、家族に相談するなどして対応している。	日常会話から分かった利用者の「思い」や「意向」は、介護記録に記載し、職員間で共有している。将棋が好きな利用者に関して、今まで将棋をしていた集会所に継続して行けるようケアプランに盛り込み、実施している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	今までの生活歴などを考慮、本人や家族に確認を行い、記録に残すなどして状況把握し、継続した環境作りに努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	入居者それぞれの状態、状況を常に意識し、確認、把握に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>毎月の職員会議や本人の希望、家族の意見・相談を基に話し合い、現状に応じた介護計画の作成を行っている。</p>	<p>ユニット1では、利用者毎に担当者を決め、モニタリングを実施している。ユニット2では、職員会議で職員全員でモニタリングを行う。その後どちらのユニットも、ケアカンファレンスで、モニタリングを基に職員と話し合いを行い、ケアプランの見直しを行っている。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>入居者ごとの個別記録に、気付きや本人の主張など記入し職員間で共有している。また、それに基づき意見交換をし介護計画の見直しを行っている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>ホーム内で、ボランティアの方によるレクや催し物など、外部の方に参加していただける機会を作っている。又、いきいきサロン・趣味の将棋を継続できるように、地域行事（サービス）への参加もしている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>近隣のグループホームとの交流やボランティアの協力依頼、中学校の職場体験、また、子供会、消防署などと協働できるように支援している。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>入居前からのかかりつけ医を継続できるように支援をし、受診時に必要な相談をしたり、指導を受けられるようにしている。また、専門医への受診もすることがある。</p>	<p>利用者と家族の要望でかかりつけ医を決めている。ほとんどの利用者がホームの協力医をかかりつけ医とし、協力医は2週に1回、往診して、利用者の健康状態を把握している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>	<p>職員として看護師を配置し、出勤時に健康管理等行い、点滴など医療が必要な場合は、医師の指示により訪問看護師に来て頂いたり、早目に受診し適切な治療が受けられるように支援している。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入退院時には医療関係者との情報交換や、相談・継続的な支援の必要性を話し合い、退院後の生活がスムーズに出来るように支援している。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p>	<p>重度化した場合を想定し、家族に早い段階から話し合いを行っている。その意見をもとに、主治医や看護師、職員と今後の対策について、本人にとって最良の結末を迎えられるように、カンファレンスを開き支援に取り組んでいる。</p>	<p>入居時に「重度化した際の指針」について、家族に説明している。また、重度化した際には、医療依存度が高い利用者に関しては、家族と相談して適切な機関を紹介し移動してもらっている。なお、医療が常時必要でない利用者の看取りを行った事例がある。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。</p>	<p>緊急時マニュアルに沿って、対応の仕方を職員会議などで全職員に発信、定期的に救命講習を受け、実践につなげている。判断に迷った場合にも、主治医・管理者に連絡をとるなどし対応している。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。</p>	<p>年2回以上、避難訓練を実施し、そのうち1回は消防署より指導を受けている。また、避難訓練などに地域の方にも参加を呼びかけ、災害時協力を得られるよう、日頃から交流を持つようにしている。</p>	<p>年に2回、その内1回は、運営推進会議と同一日に開催し、消防署立ち合いの下に、利用者も参加し避難訓練を行っている。訓練後の反省会では、地域住民の協力について話し合い、利用者が避難待機している時の、利用者の見守りを地域住民に要請した。土砂災害の対策も検討している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	プライバシーを配慮した声かけや対応などを行っている。また、記録などの確認をし、定期的に指導を行っている。	人格の尊重とプライバシーに関する法人研修を年1回、実施している。職員会議でプライバシーに配慮した声掛けを行っているか検討している。職員が職場を離れた際や退職後も、利用者の個人情報や他人に漏らさないよう職員を指導している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	それぞれの状態や能力に応じ、可能な限り自己決定の支援を行っている。また、意思表示が困難な方は、表情などを細かく観察するようにしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	本人の希望に応じて、無理のないよう買物や散歩、ドライブなどを行うよう支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	散髪や髪染めを、本人の希望に合わせて、馴染みの店で行っている。また、服選びは、本人と相談の上、数種類の中から決めるようにしている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	献立を入居者と一緒に考えることがあり、買物や調理、盛り付け、片付けなど一緒に行っている。また、行事・誕生日には工夫を凝らした料理やお酒を出し、楽しんでいただいている。希望によっては外食をすることもある。	利用者の希望を聞いて献立を立て、野菜の下準備、盛り付け、片付けを利用者と一緒に行っている。利用者と一緒に育てた野菜を使用することもある。利用者の誕生日には、その方の希望する食事を提供し、時にはホットケーキ、白玉と一緒に作り楽しむこともある。また、外食を楽しむこともある。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>野菜を中心とした食事を提供している。体重の増減や栄養状態、医師の指示に基づき個別に量も調整している。嚥下状態に合わせ、ミキサー食や刻み食を提供し、水分にはトロミを加えたり形態を変えて摂取していただいている。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>毎食後の口腔ケアの声かけし、困難な方には介助を行い清潔保持に努めている。毎日入れ歯の消毒も実施し、また、必要に応じて訪問歯科の指導も受けている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>本人の状態や状況に応じて排泄パターンを理解し、トイレの声かけ、誘導、交換を定期的に行い、なるべくトイレで排泄できるよう支援している。また、本人に応じた排泄用品を検討している。</p>	<p>利用者の排泄パターンを理解し、トイレ誘導を行っている。排泄の失敗が気になり、頻繁にトイレに行く利用者については、心理的に落ち着くように話しかけている。利用者に応じた衛生用品を使用することで、利用者の負担軽減を行う取り組みをしている。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>便秘予防のため、水分や乳製品、繊維質の食材を献立に取り入れている。また、歩行運動や腹部マッサージを実施している。便秘気味の方には、排便確認表で管理を行い、服薬等で調整している。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>予め予定を立てているものの、希望する回数や時間など、体制の可能な限り対応できるように配慮している。</p>	<p>週に2～3回、入浴しているが、利用者の要望で、夏場は毎日入浴する利用者もいる。同性介助を希望する利用者の要望にも応じている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。</p>	居室の環境整備、室温管理を行い、足浴の実施や、日中の活動量を増やすなどの工夫をしている。体調によっては早めに休んでいただくこともある。		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p>	服薬ファイルがあり、変更、服薬時など確認を行っている。状態も常に把握し、不明な点などあれば、主治医や薬剤師に相談、また指導を受けるようにしている。		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。</p>	食事作りや畑仕事、手芸、作品作りなど、それぞれの得意分野を見つけ、役割を持って行えるよう支援している。また、本人の希望に沿って支援を行っている。		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	できるだけ本人の希望に応じ、買物や散歩、ドライブ等と出掛けるようにしている。また、入居者の状況に合わせて、家族の協力も得ている。	天気の良い日は、出来るだけ散歩、買い物、ドライブに出かけている。食材の調達に利用者と一緒に週に2~3回は出かけている。花見や紅葉狩りなど、遠出を楽しむ機会もある。	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。</p>	本人の状態に合わせて所持していただき、欲しいものや必要なものなどを買物時などに、使えるように支援をしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>本人の希望に合わせて、定期的に電話したり、家族から連絡があった場合電話の取次ぎをしたり、届け物の場合一緒に開封したり、手紙を代読することもある。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>日々の清掃・消毒を行い、季節に合った飾りつけ、展示物、模様替えなど、入居者と一緒に工夫し行うことで、居心地のいい空間を作っている。入浴時には脱衣場の温度調節を行っている。</p>	<p>室内を清潔に保つように努め、利用者が手すり拭きやテーブル拭きなどに協力している。習字などの利用者の作品や利用者で作った季節の飾り物を掲示している。寒がりの方へはひざ掛けを用意している。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>共用空間では気の合う方との席の配置、談話室にはソファを設け、テレビ鑑賞など思い思いに利用されている。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>本人・家族と相談の上、今までの環境とあまり変わらないよう、慣れ親しんだ家具や食器などを持ってきていただいている。また、本人の好みの装飾品などを置き工夫している。</p>	<p>各居室には、今まで使っていた家具や寝具を持ち込み、家族の写真を飾ったり、趣味の編み物道具で編み物をしたりと、居心地よく過ごせるよう工夫している。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>入居者の状態に合わせた椅子やテーブル、手すりなどを設置し、移動がスムーズに出来る様にしている。また、状態に応じて目印などで対応している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	事業所の理念を玄関に掲示している。職員は出勤時に確認を行なっている。また理念達成に向け具体的な目標を立て実践につなげている。定期的に目標達成できているか話し合いを行なっている。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	自治会にも加入し、地域のお祭りに参加している。日々の買い物や散歩の時に近隣の方と挨拶や話をしている。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	毎年、中学生の職場体験を受け入れている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	運営推進会議ではホームでの取り組みや行事等を報告している。参加者が自由に意見が言えるような雰囲気作りを心がけている。また、運営推進会議で出た意見は職員会議で報告しサービス向上に活かしている。		
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	季刊誌を定期的に送付している。運営推進会議の時に介護保険課の方に日々のケアなどについて報告をしている。また生活課担当者の方にも報告をし何かあれば意見をもらうようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>外部研修の参加、ひなたぼっこ全体の内部での勉強会を行っている。また、具体的にホームの利用者のケアの中で身体拘束にあたる行為はないか職員会議の時に定期的に話し合いを行い身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>		
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>研修会に参加している。年2回「ひなたぼっこ虐待防止チェックシート」を全職員が行い職員会議の時に話し合いの機会を持っている。また、職員会議の時に定期的に勉強会を行っている。その際に具体的にホーム内で虐待にあたる行為はないか話し合いを行い防止に努めている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>成年後見制度を利用される方があり、後見人の出来る事、出来ない事を聞き、少しずつではあるが実際の事例を通じて学んでいる。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>十分な時間をとり詳しく説明を行ない家族の同意を得るようにしている。不安や疑問等について、いつでも確認が出来るように対応している。家族等が十分理解、納得してから契約を行なうようにしている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>利用者、家族アンケートを行なっている。利用者、家族の満足度をケアカンファレンスの時に確認し、職員会議の時に意見等を話し合い運営やケアに活かしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>定期的に運営について職員会議で意見を聞くようにしている。必要があれば会議以外でも意見を求めるようにしている。</p>		
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>面談にて職員個々の意見を聞く機会を設けている。また、職員が努力しやり遂げた事に関しては評価し向上心を持って仕事ができるようにしている。職員の資格取得を支援している。</p>		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>外部研修に積極的に参加できる勤務体制を整えるよう考慮している。ひなたぼっこ全体で内部研修を行い、技術、知識の向上に努めている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	<p>同じ地区のグループホームと交流会を年2回行ない。また、広島市のグループホーム交流会にも参加している。交流会には職員も参加し他グループホームの取り組みなどを聞いたり意見交換を行なっている。職員会議の時に報告している。</p>		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<p>事前面談を行なっている。必要があれば2~3回面談を行い本人の状態把握、不安や要望等の確認を行なっている。また、体験入居を行なっている。早期に信頼関係が築けるように対応している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>十分な時間をとり、家族の希望や不安などを確認するようにしている。いつでも相談できるように対応している。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>家族、利用者の状況等を十分に確認し必要であれば他のサービスを紹介する事もある。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>利用者の気持ちに配慮し、日々の生活の中から教えてもらう場面や料理作りなど活躍の場を作るようにしている。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>家族関係が維持できるように面会時には日々の様子を報告し情報を共有するようにしている。生活記録からも確認できるように開示している。また、利用者が家族便りに家族への手紙を書いて送付したり電話をかける機会を作っている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>近隣の友人の面会がある。その関係が維持できるように訪問しやすい雰囲気や心掛けていく。家族にも友人に面会に来て下さるよう働きかけてもらうようにしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	気の合う仲間同士が同じテーブルになるようにしている。いい関係が維持できるようにしている。一緒にドライブに出掛けたり料理作りをしたり利用者同士の関わりを大切にしている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	不定期ではあるが面会に行っている。面会時に家族と会う事もあり、相談等にのる事もある。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	その都度、利用者の希望を確認している。また、表情や行動から利用者の気持ちをくみ取るように心がけている。利用者アンケートを定期的に行いなるべく本人の希望に添った暮らしができるようにしている。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	入居前の事前面談で生活歴等を確認している。また、入居後も本人から聞いた話を家族に確認し、生活歴の把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	利用者一人ひとりの生活リズムを把握するよう努めている。また、出来る事、難しい事についても日々の気づきを記録し、職員間で情報を共有するようにしている。職員は毎日の申し送り確認している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>月一回の職員会議の時にケアカンファレンスを行なっている。家族にも介護計画説明時に意見を求め、本人、家族の希望に添った介護計画を作成している。</p>		
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>個別ファイルに日々の様子を具体的に記録している。毎日申し送りを行い、職員は情報を共有している。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>利用者、家族の希望や状況に応じて柔軟な対応を心がけている。本人の希望に添い、「どこかに行きたい」「仕事をしたい」などをケアプランに取り入れ希望が叶うように支援している。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>地域の歌のボランティアや子供会の慰問など地域の方の協力を得て、行事に参加させていただいたりしている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>かかりつけ医は家族と相談し決めている。受診時は家族へ報告している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>	<p>看護師を配置し利用者の健康状態や状況に応じた支援を行なっている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院時には医師や看護師に詳しい情報を提供している。また、なるべく多く面会に行き利用者の不安軽減に努めている。退院時にも詳しい情報を得るようにしている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p>	<p>主治医、看護師、家族と話し合いを十分に持ち、家族や本人の希望を確認しながら今後の方針を決めている。</p>		
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。</p>	<p>マニュアルに基づいた勉強会や訓練を定期的に行ない急変時の対応がとれるようにしている。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。</p>	<p>マニュアルに基づいた訓練を定期的に行なっている。また、消防署職員により指導していただいている。運営会議の時に訓練を行なう事もあり地域の方にも参加していただき意見をもらうようにしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	職員会議の時に勉強会を行なっている。具体的にプライバシーの侵害になる事はないか検討している。声掛けやケアにも配慮しながらケアを行なっている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	日々の生活の中で希望を聞くようにしている。自己決定しやすいような声掛けを行なっている。レクリエーションへの参加や作業を行なう時など、日常生活の中でなるべく多く自己決定できるように支援している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	利用者の生活リズムを優先するように職員会議の時に話し合いをする機会を設けている。利用者の「今日は散らし寿司が食べたい」「ドライブに行きたい」の声を大切に希望に添えるようにしている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	利用者の希望に添ってパーマや毛染め、化粧ができるようにしている。毎朝、洋服を選ぶ時も利用者の希望を聞きながらケアを行なっている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	利用者と一緒に食事作りや盛り付けを行なっている。利用者が食べたい食事がある時はその日の食事に取り入れるようにしている。また、外食や宅配なども利用者の希望に添って決めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>利用者一人ひとりの食事量、水分量を把握し、それに合わせた量の提供を行っている。利用者の状態に合わせ必要であれば刻み食やトロミをつけ安全に食べることができるように支援している。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>毎食後に口腔ケアを行なっている。義歯の管理も行っている。訪問歯科の先生と連携をとり、指導や助言をもらっている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>一人ひとりの排泄リズムの把握に努め、トイレでの排泄が保てるように支援している。</p>		
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>毎日排便の確認を行なっている。日々の食事や適度な運動を心がけている。主治医や看護師との連携も図り便秘予防に努めている。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>入浴が好きな利用者はなるべく毎日入浴できるようにしている。利用者の希望に添って行なっている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。</p>	<p>安眠できるように環境整備している。夜間眠が覚めても職員と一緒にテレビを観たり、希望があれば夜食を食べていただいたりしている。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p>	<p>職員は利用者の薬の内容を把握している。服薬確認は必ず3回行ない服薬ミスがないようにしている。新たな薬が処方された時には薬剤師に効果、副作用などを指導してもらい職員は薬について理解して利用者へ内服してもらっている。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。</p>	<p>利用者の力に合わせて食事作りや洗濯物たたみなどをしていただいている。楽しみとされている事や嗜好品についても本人、家族と話し合いを持ちなるべく本人の希望に添えるようにしている。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>買い物や散歩、ひなたぼっこを行なっている。利用者が「〇〇へ行きたい」と希望された場合は希望に添って外出などを支援している。</p>		
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。</p>	<p>一部入居者はおこづかいをもっておられ自分で購入されている。本人管理が難しい場合でも希望があれば立替にて好きな物が購入できるようにしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>家族へ電話をされたり手紙を書いている。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>季節に応じた飾り付けを心がけ、散歩時に花を摘み飾ったりしている。</p>		
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>利用者がくつろげるような家具の配置にしている。廊下椅子とフローアにソファを増やした事で利用者がくつろげる場が増えた。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>居室は今まで使用していた馴染みの物をなるべく持ってきていただくようにしている。家族の写真や花を飾られ居室でもくつろげるようにしている。</p>		
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>利用者の状況に応じた環境整備を行っている。トイレなどの目印をつけている。利用者の状況が変化した時はそれに合わせて環境整備を行ないなるべく自立した生活が送れるようにしている。</p>		

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係やとのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係やとのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 ひなたぼっこ・亀山①

作成日 平成28年2月24日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	ホーム内の具体的な行動指針、年間目標の立案、職員個々の目標の設定と意識向上	ホーム職員個々の年間目標設定	年間目標を見えるところに掲示し達成に向けて取り組んでいく。目標達成度について6ヶ月毎職員との面談を行う。	1年
2					
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 ひなたぼっこ・亀山②

作成日 平成28年2月29日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1		職員個々人の目標設定・意識の向上	職員の個人目標を設定する	個別で管理者と面談を行ない、目標を設定し、6ヶ月毎に振り返りを行なう	1年
2					
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。